



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦
副会長 古賀 健一郎
書記 金子 功
会計 伊藤 誠彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」 担当主事

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
青木 一弘

<今月の聖句>

田口 努

あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、
いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。

(マタイによる福音書 20 章 26-27 節)

今月のひとこと

「新しい年度を迎えて」

古田 和彦



新年度を迎えます。かつてはYMCA職員・担当主事としてワイズにかかわらせていただきましたが、2011年、いわゆる、フルタイムの仕事を終え退職した時、YMCA職員時代に大変お世話になった松島美一ワイズにお誘い

を受け、横浜ワイズに入会させていただきました。入会後はクラブ会計として歴代会長のご指導を受けて働かせていただきましたが、今回、はからずも、会長をお引き受けすることになりました。

横浜クラブは1930年に大阪クラブのチャーターを受けてできた日本で2番目のクラブです。その伝統とワイズメンズクラブ全体における貢献ははかり知ることができないほどのものでしょう。しかし、今日の状態は、ほかの多くのクラブ

同様、高齢化とともにメンバーの減少が目立ち、今年度はついに前年度より5名の減少（うち1名は休会会員）となりました。その中のお1人はワイズ歴66年の高杉治興ワイズでしたが、本年2月に天に召されました。一時代の変わり目を感じます。

ここに至って、私たちは初心に帰りクラブが目指す目標の明確化を図り、その達成のために阻害要因を取り払い、課題解決へ具体的に取り組まなければなりません。そのために、去る5月18日、19日の一泊研修会において「横浜クラブの今後の在り方を考える」とのテーマのもと、忌憚なく話し合いを行いました（その協議内容はブリテン6月号に報告があります）。時間の制限もあり、十分皆が納得するまでには至りませんでした。参加者一同、会員増強とYMCA理解の増進、楽しく良質なクラブライフを実現するために、この1年をかけて、学びと話し合いを重ね、目に見える施策を一つでも多く実現していくことを誓い合いました。

微力な私ですが、皆様のご協力とご助力、また、時にはご叱責を受けて、力まずに務めさせていただきたいと願っています。よろしくお願いいたします。

<2018年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
16名	メン 9名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 10名	69% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正出 席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<7月の行事予定>

キックオフ、Yサービス、ASF、RBM

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会および 総会 湘南・沖縄部長公式訪問	中央Y
14	土	14:00	第一回部評議会	中央Y
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

「6月第一例会報告」

古賀 健一郎

日時：6月14日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA501号室

出席者：青木、伊藤、今村、大高、金子、古賀、舟田、古田、松島

ゲスト：野口 丞治氏(卓話者)

例会は、舟田ワイズの司会により定刻に開始。舟田会長の開会点鐘、挨拶に続いて、ワイズソング、ワイズの信条を唱和した後、今月の聖句（マタイによる福音書18章12～14節の「迷い出た羊」のたとえ）を古賀ワイズが朗読し、この聖句に対する所感を述べた。

舟田会長よりゲストの野口丞治氏（今月の卓話者）が紹介され、その後、古賀ワイズによる食前の感謝と食事。

今例会の卓話は、「カリブ楽園 セントルシア」と題して、「シニアボランティア経験を活かす会」の元監事の野口丞治氏に、JICAシニアボランティアとしてカリブ海にあるセントルシア（英連邦加盟国）に派遣された時の経験を、パワーポイントの映像を見ながらお話いただいた。

野口さんは、一級建築士で、大手ゼネコンに就職し、中近東、米国、東南アジア各地での建設工事を手がけられた経験を活かし、セントルシアで2年間の建設・土木施工技術指導を行い、世界銀行貧困撲滅基金による貧困層の生活環境改善と社会促進事業に貢献された。

セントルシアは、鎌倉とほぼ同じ人口で、観光と農業を主な産業とした、美しい小さな島国だ。鉄道・バスはなく、交通手段はトヨタエースの15人乗り合い自動車だ。

このカリブ海の国々は、列強諸国が領土拡大にしのぎを削った「闘技場」だったと言える。16世紀はスペインの時代、17世紀はオランダ、フランスが海上権を握ろうと、三角貿易（奴隷貿易）を行った。西アフリカから約1千万人の奴隷がカリブを含めた植民地に動いた。18世紀はイギリスの時代となり、産業革命を契機に、植民地拡大と大英帝国の確立につながった。イギリスの植民地政策は、本国の利益ばかりでな

く、政治機構の構築とインフラを整備し、国家形成に貢献していくためのものだった。そして優秀な現地人材を本国で教育して送り返し、間接統治し、撤退時の受け皿を作った。イギリスとフランスが領有権を争った結果、現在はセントルシアは英連邦王国の一国たる立憲君主制国家となり、イギリス連邦加盟国である。

またセントルシアは2人のノーベル受賞者（文学賞と経済学賞）を輩出している。そしてこの小さな国へ日本は十数人ものJICA（外務省所轄の独立行政法人「国際協力機構」）の職員を派遣し国の開発協力を行っている。それは、国連の常任理事国入りに向けた親日国作りの思惑もある。

「美しい自然に恵まれたカリブ海の小さな島、セントルシア」に繰り広げられた歴史、政治、経済、文化のお話は、私たちにとって、大変興味深く、貴重なものとなった。

卓話の後、舟田会長の司会で、（今後の予定を含め）ビジネスをレビュー検討した。

そして松島ワイズのハッピーバースデーを祝って、定刻に閉会した。ロバ献金は9千円。



「第4回湘南・沖縄部評議会報告」

松島 美一

表記の会は6月16日（土）に横浜中央YMCA606号室で定刻15時に開会、以下の議案（報告者）を審議した。

第1号議案 2017～2018年度事業報告と評価に関する件（金子部長）。

第2号議案 2017～2018年度年度会計決算見込みに関する件（伊藤部会計）

第3号議案 2018～2019年度部長方針および行事計画に関する件（佐藤次期部長）。

第4号議案 部会プログラムの概要について（佐藤次期部長）。

9月15日（土）14時よりレンブラントホテル厚木で行われ、講演は佐治晴夫理学博士、「宇宙に学ぶ人生」の予定。

第5号議案 エクステンション委員会の継続と委員長選任について（佐藤次期部長）。

第6号議案 エクステンション委員会規則の件（佐藤次期部長）。

第7号議案 エクステンション委員会設置に伴う部則改訂の件（佐藤次期部長）第1～5および7号議案は原案通り、第6号議案は一部修正の上承認した。

第8号議案 2019～2020年度部運営の検討について（金子部長）。第3回評議会において次々期部長を沖縄クラブ森田幸二郎ワイズに決定したことにつき、一部に疑義申立があった。解決すべき問題があるが、協力し合って局面を打開することを約束した。

第8号議案に時間を要したので、30分おくれの17時30分金

子部長の閉会点鐘をもって閉会した。横浜クラブの出席者は青木、伊藤、大高、金子、古賀、舟田、古田、松島であった。

「カナダからのBF代表歓迎」

金子 功

「第21回東日本区大会報告」

金子 功

第21回東日本区大会は沼津クラブをホストとして6月2日(土)～3日(日)、東海道本線沼津駅から徒歩5分の立地にあるプラサヴェルデを会場として開催されました。「富士山のように高く」をテーマとした大会には480名以上の参加者を得て盛大に開催されました。横浜クラブからは7名が参加しました。



初日午前11時からの代議員会では9項目に及ぶ議案がすべて疑義なく承認されました。大会は賑やかな飛龍太鼓の力強い演奏でオープン。

最初のプログラムはバナーセレモニーでした。東日本区7部61クラブの代表者が、各部およびクラブ旗を掲げてステージに整列する姿は正に壮観で、湘南・沖縄部は金子功部長(横浜クラブ)を先頭に横浜クラブ舟田正夫会長と続きました。

栗本治郎理事の開会宣言・点鐘があり、沼津市長、日本YMCA同盟総主事の祝辞がありました。

部長の年次活動報告では湘南・沖縄部8クラブの代表的な活動を金子部長が報告しました。メモリアルアワーではこの1年の間に召天された仲間を追悼しましたが、本年2月に亡くなられた高杉治興ワイズも含まれておりました。

今大会の記念講演は沼津市出身の岩崎恭子氏でした。14歳の若さで金メダルを獲得したことによって生じた家族、友人、マスコミ等との軋轢、苦勞から、それでも「幸せは何時も自分でつかむ」ものと人生観を語るものでした。

晩餐会は海の幸、山の幸を豊富に取り揃えた十分すぎるほどの食べ物、飲み物を賞味、ステージでは各部ご自慢の出し物が披露され会場を盛り上げました。

湘南・沖縄部は、厚木クラブ小松仲史会長のトランペットの音色に合わせ、「Y's Men Will Shine Tonight」の応援歌を部からの参加者36名全員で合唱し、大会を盛り上げました。

二日目には大会のハイライトでもある理事及び役員引継式が厳粛な雰囲気の中で行われました。栗本治郎理事から引き継いだ宮内友弥新理事は「為せば、成る」(No challenge, No Fruit)の主題を謳いあげ新年度に向けての抱負を述べました。

湘南・沖縄部部長バッジも金子部長より佐藤節子次年度部長の胸に着けられ部長の交代も無事行われました。

2017-2018年度東日本区表彰では、横浜クラブは各種献金の達成賞を授与された他、ユース事業部特別表彰として「YIA推進賞」が授与されました。外国人留学生による日本語スピーチコンテストの横浜YMCAとの共催が評価されたものです。横浜クラブからの参加者は青木、金子、齋藤、田口、舟田、古田、松島 以上

本年のBF代表(*)はカナダ、ニューブランズウィック州フレデリクトン市からMr. & Mrs. Todd Robinsonが来日しました。ご夫妻はEpsiron Y's Service Clubのメンバーです。

沼津で開催された東日本区大会を皮切りにあずさ部、関東東部を訪問した後6月6日～7日、湘南・沖縄部に来訪しました。

初日は横浜中央YMCAへの表敬訪問と見学、夜は横浜中華街で歓迎夕食会、翌日は三溪園の見学と慌ただしいスケジュールでしたが天候にも恵まれ温かい歓迎に喜んでいただきました。

専門学校の教師をしているというToddさんは横浜YMCAの語学および福祉専門学校への訪問に大変興味を示し、見学の機会を喜んでおりました。

夜は、生井館長、青木部担当主事の他、1996年にフレデリクトンで開催されたワイズの国際大会に参加した加藤利榮さん(横浜とつか)を含め、8名で横浜中華街広東飯店で歓迎夕食会を催しました。

翌日は三溪園を訪問、日本の古い建築物や庭園を楽しんだ他、抹茶で憩いのひとときも味わいました。昼食後、多少の市内見物をした後、新幹線で大阪に向かいました。

今回は、湘南・沖縄部部長の金子ワイズ(横浜)が受け入れを担当すると同時に横浜中央YMCAの見学が含まれたために横浜クラブのメンバーが多く歓迎夕食会にも参加しました。



横浜クラブからの参加者：青木、大高、金子、古賀、舟田
*Brotherhood Fundの略。この基金は世界のワイズメンがお互いの地域を公式訪問するために使用されています。

「近況報告」

野村 郁雄

2018年6月末をもって2年間在籍した横浜クラブを退会することにしました。



入会当初は勤務先が永田町だったが、昨年度より十条勤務となり卓話開始時刻である午後7時に間に合わなくなった。更に今年からは母に加え叔母の介護、孫の面倒も見ることになり、現在日本の社会問題である少子高齢化問題と共働き家庭支援問題が一気に私に降りかかってきたように感じる。これも宿命と受け入れることとし、退会を決断した。

この2年間を振り返ると例会だけでなく区大会やYMCAイベントにもあまり参加できなかった。入会当初の意気込みと実際のかかわりに乖離があったことは非常に残念だ。例会での学びや多くの先輩方との語らいは自分にプラスになる充

実した時間ただけに退会は苦渋の決断であった。

今後は地元で地域に根差したボランティア活動を行うつもりだ。時間を有効に使いながら地域に根差す活動を西区で行っていくことにする。活動場所は異なるがYMCAが大切にしている価値とワイズでの学びを心柱とし、活動を行っていくことにする。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：6月14日(木)17:00~18:30、22日(金)17:00~20:00
場所：横浜中央YMCA 501号室、606号室
出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、舟田(22日のみ)、古田、松島(14日のみ)

ゲスト：平岡守 横浜Y日本語科(22日)

6月第二例会は総会資料を準備するため変則日程で実施。

14日の臨時第二例会は、第一例会開始前の時間に、各担当者が準備した資料に基づき総会資料の確認を行った。会員減少によるクラブ財政の悪化、それに伴うサービスの縮小が懸念される一方で、様々な理由からクラブ会費の値下げを望む声があり、結論が出ないまま、改めて22日に第二例会を開催し、継続して議論することになった。

22日第二例会では、最終的に議長(古田新会長)裁定で、会費を一定額減額するとともに、サービス水準も一定程度縮小することで決着した。

尚、第二例会冒頭、横浜Y学院専門学校日本語学科の平岡先生より第6回日本語スピーチコンテストの実施要領案が示された。例年との違いを3点に絞って記すと次の通り。

- ①日時 9月5日10:00~、前5回は2月開催、13:30~
- ②場所 神奈川県民小ホール、交流会(13:00~)は中央Y
- ③主催 横浜Yカレッジグループ日本語学科3校(横浜、厚木、川崎)



担当主事 青木 一弘

○第3回神奈川県臨床作業療法大会のお知らせ
~Creating a Bright Future~

この臨床大会では、「輝く未来を創る」をテーマに、すべての人々が輝ける未来になって欲しいという願いのもと開催されます。今回のプログラムでは、午前中にシンポジウムを行います。シンポジウムは、子どもから成人までのライフサイクルに沿い、それぞれの分野で活躍中のスペシャリストをゲストにお迎えする予定です。一人ひとりが持つ、その人らしさに目を向け、その人の「意味のある、したい生活行為」に寄り添い、未来を輝かせる支援ができるよう考えていきます。なお会場は、はまぎんホールヴィアマーレで、アクセスも桜木町駅から徒歩5分という利便性の良い場所にあります。是非、足をお運びになり、輝く未来に思いを馳せてみませんか。

日時：7月29日(日)10時~12時30分
場所：はまぎんホールヴィアマーレ(JR桜木町より徒歩)横浜銀行本店ビル1階
内容：一般公開シンポジウム「気になる子どもたちへの支援の工夫」

費用：無料

その他：申込不要、直接ご来場ください。

事務局：横浜YMCA学院専門学校 作業療法科
045-641-5785

7月例会プログラム

日時：7月12日(木)18:30~20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：伊藤ワイズ

- 1. 開会点鐘および挨拶・・・古田会長
- 2. ワイズソング・ワイズの信条・・・全員
- 3. 今月の聖句・・・田口ワイズ
- 4. ゲスト・ビジター紹介・・・古田会長
- 5. 部長公式訪問 挨拶・・・佐藤部長
- 6. 食前感謝・・・田口ワイズ
- 7. 会食
- 8. 総会

議長選出と定足数の確認

議案の審議

第1号議案 17-18年度事業結果報告・・・古賀ワイズ
事業報告、会員異動、例会出席、評価

第2号議案 17-18年度各事業委員報告

地域奉仕事業・・・大高ワイズ

会員増強事業・・・古賀ワイズ

国際・交流事業・・・遠藤ワイズ

ユース事業・・・齋藤ワイズ

第3号議案 17-18年度会計報告・・・古田ワイズ

第4号議案 18-19年度クラブ役員、事業委員の確認

第5号議案 18-19年度活動方針と事業計画

第6号議案「会費等に関する施行細則」の改訂について

第7号議案 18-19年度予算案

9. キックオフ例会

ビジネス・報告・・・古田会長

10. Happy Birthday 今村朋子(25)

11. 閉会点鐘・・・古田会長

例会報告：金子ワイズ

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
3-5	金	10:00	AIDS文化フォーラム	県民センター
21	火	18:30	とつか・鎌倉クラブ 合同例会	加藤邸
23	木	18:30	第一例会兼納涼会	驛の食卓
	木	17:00	第二例会	驛の食卓

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785